

### 3. 「ピロリ抗体のヨーグルトを用いたクリニカルデータ」

#### 【目的】

「H. pylori」(ヘリコバクター ピロリ菌)は胃潰瘍や胃癌などの原因と言われており、ヒトにおいて発癌性を示す十分な根拠があると報告され、胃癌患者では95%にH. pylori抗体が陽性であると報告されている。

そこで、H. pyloriの除菌は胃癌予防に重要であり、抗生剤による除菌のみならず、食品による日常的な除菌が必要と考えた。

H. pyloriの胃粘膜への接着には、菌体表面蛋白質である「ウレアーゼ」が関与している。今回我々は、ウレアーゼによる接着を「抗H. pylori urease鶏卵抗体(IgY)」で阻害することによる新しい除菌方法を考えた。このIgYを食品へ応用し、H. pylori抗体のIgYと健康食品としてのヨーグルトの効果を期待し、「IgY添加ヨーグルト」を作成し、H. pylori感染者に投与し、その効果を検討した。

#### 【方法】

IgYを添加したヨーグルトを調製し、H. pylori陽性者16名に摂取させ、投与前、4週目、8週目、12週目に糞便中H. pylori抗原検出試験と尿素呼気試験(UBT: Urea Breath Test)を行い、IgY添加ヨーグルトの除菌効果について検討した。

#### 【結果】

健康人ボランティアでUBT強陽性者にIgYヨーグルトを摂取させた。IgY添加ヨーグルトを8週間摂取することにより糞便中H. pylori抗原量、UBTは共に有意の低下を認めた。さらに、投与3ヶ月後も同様に糞便中H. pylori抗原量、UBTは著明に低下した。

以上の結果より、IgY添加ヨーグルトの摂取は、胃内のH. pyloriの菌数を減少させること、およびIgY添加ヨーグルトは「機能性ヨーグルト」として有用であることが確認でき、この効果はIgYの働きによるものであると考えられ、日常的な食品として「IgYヨーグルト」の摂取により、H. pyloriの除菌が可能と考えた。